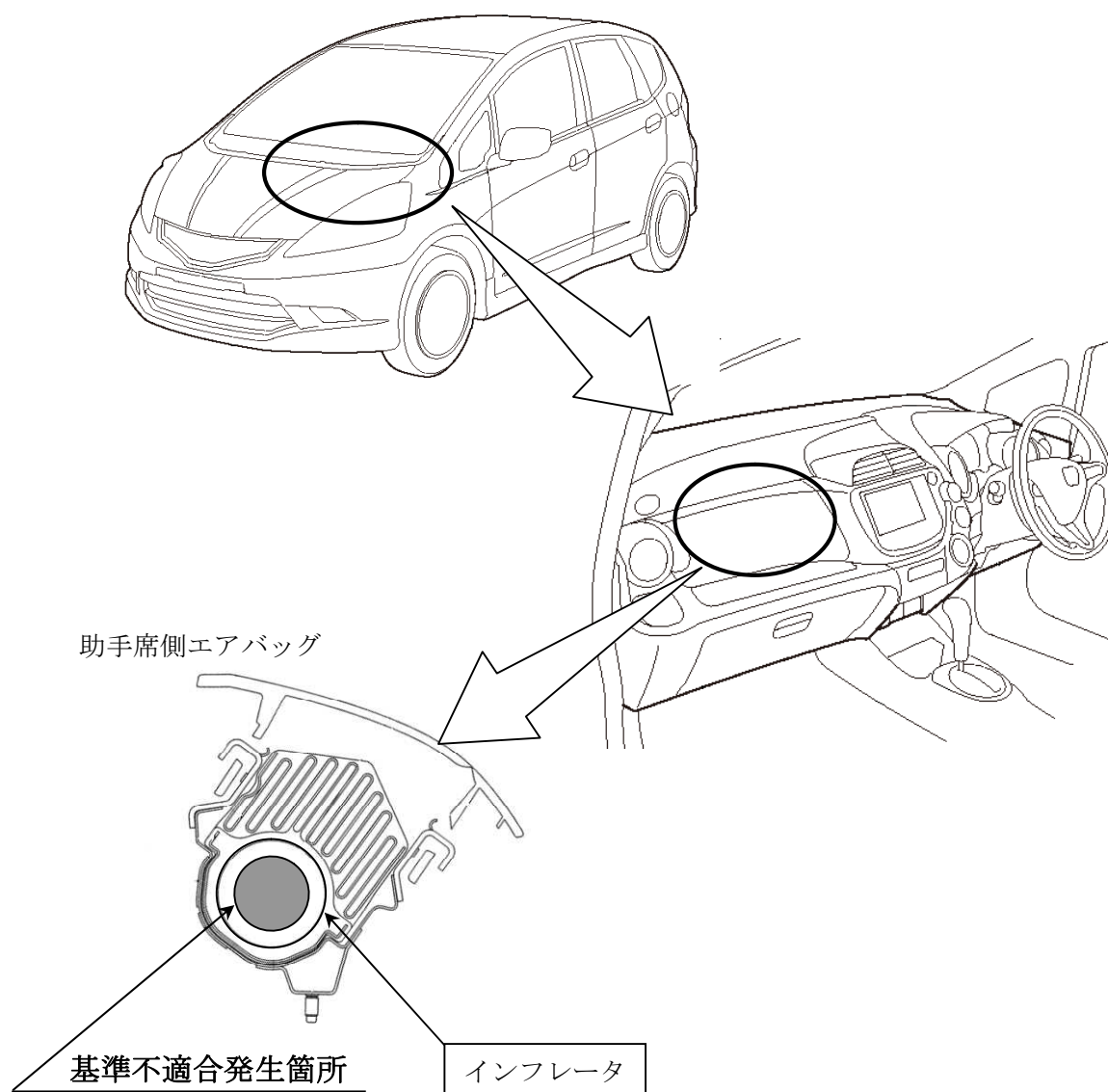


改善箇所説明図



助手席側のエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、環境温度および湿度変化の繰り返しによりガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇して、インフレーター容器が破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、助手席側エアバッグのインフレーターを年式の古いものから対策品と交換する。

なお、部品が供給できない場合には、暫定措置として助手席側エアバッグの機能を停止するとともに、助手席サンバイザ部に当該エアバッグが作動しない旨の警告を表示する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席側ドアストライカー下部ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。